

黒沢洞合自然公園整備検討委員会 資料

7月の検討状況報告及び今後の進め方

1. 南農生からの提案事項と課題研究テーマ	1
2. 誰が何をする公園をつくろうとしているのか？の整理	3
3. どこに何をつくる、何をするとよいかの整理	4
4. 今後の進め方	5
参考1 過去の空中写真からの土地利用変遷	6
参考2 安曇野市土地利用条例上の手続き	7

令和5年8月8日

株式会社 KRC

1. 南農生からの提案事項と課題研究テーマ

南農生からの提案

2023/6/30学校・7/14現地

I テーマ

- 1 ビオトープ（里山風の庭園）
現在ある公園の延長上で、池や木々があり昆虫・動物・野鳥が沢山来る公園。
- 2 日本の四季をテーマにした庭園
今ある整備予定地の段を使いそれぞれ春夏秋冬を表す。
- 3 周囲の風景も公園の一部にする。（借景）

II 提案事項

- 1 公園全体が見渡せる場所作り
 - ・公園を見渡せる場所が現在一か所しかないので、全体を見渡せる場所が欲しい。
 - ・現在の駐車場の段が上下を見渡せる場所なので、そこを見晴らし台のようにしたい。
 - ・公園が広がるので、この場所に足の悪い人でも座れるような自然石を置き、公園全体を見渡せたり、野鳥を観察できるようにする。
- 2 借景を使った風景作り
 - ・公園の上下を見渡せる場所から美ヶ原と鉢伏山が見えるので借景として取り入れたいが、高い木があって借景に邪魔なので伐採あるいは剪定をして、山が見えるようにしたい。
- 3 駐車場の設置
 - ・駐車場までの道が狭いため、車のすれ違いができるくらいのスペースの道にする。
 - ・上下二か所に駐車場をつくって、上の駐車場は足が悪い人や上るのが大変な人専用の駐車場にしたい。
 - ・上下とも木はすべて切らずに日陰になる木を設置し、夏でも涼しい駐車場になるようにしたい。
- 4 ビオトープとしての池の利用(水生生物)
 - ・段の中に池が欲しいと思ったので二段目か三段目に池を作りたい。
 - ・木の実を食べにくる野鳥や動物を利用して自然な雰囲気を出したい。
 - ・牧草などはなるべく避けたい。川や池などの水がもっと欲しいと思った。
- 5 バリアフリーも意識した、すべての人が利用できる公園作り
 - ・駐車場の案でも出した通り、足の悪い人も来やすいようにできるような工夫や、伐採した木を使って、歩きやすくなるようにスロープや道を作りたい。
 - ・上るのが困難なほどの急な坂は避け、なるべく緩やかな坂にしたい。
- 6 植物
 - ・外来種は取り除き、安曇野に生息していて、黒沢洞合自然公園に生育している在来種の植物を利用したい。木の実が付き、動物が来る植物を植えたい。
- 7 季節を感じる公園。
 - ・広葉樹、落葉樹を取り入れたい。
 - ・夏に日陰になるような樹木などを取り入れる。
 - ・四季おりおりの花、野草などを取り入れる。
- 8 最低限の設備
 - ・トイレが一か所しか無いので、下に作る予定の駐車場の場所にもトイレを設置したい。
 - ・水道としても使える水栓柱を可能なら設置したい。
- 9 元の歴史も感じれる公園作り
 - ・今回、ビオトープにする場所はもともとは田んぼだったので、「ここは昔、田んぼだったんだ」と分かるように、なるべく原型を崩さないようにしたい。
 - ・歴史を感じる様な物は残しておきたい。
- 10 より自然を学べる公園
 - ・幅広い年代に来園していただきたいが、ビオトープなので植物を生育しているため、走り回るようなスペースはいらず、植物の保護・観察できるようにして、遊ぶための公園とは区別化する。
 - ・また、公園周りの森林の手入れもできれば行ってもらいたい。特に黒沢川にいくまでの道を作ってもらいたい。

2人の課題研究テーマ案

令和5年7月28日
南安曇農業高等学校 3年 田口 湧大
環境デザインコース 3年 課題研究

黒沢洞合自然公園整備事業（打合せ資料）

I テーマ

借景を使った風作りと、駐車場・トイレの設置をして人が集まりやすく、利用しやすいように道、駐車場を設置する。

II 作業内容

- 1 借景を使った公園作り
 - ・整備予定地の一番下の段に生えているニセアカシアをすべて伐採し、上の段に植える樹木と同じ樹木を植える。また、この段は高低差などがひどいため、駐車場には利用しづらいので、整地してトイレや日陰になる木を植えて休憩所を作る。
 - ・上の駐車場から見た美ヶ原や鉢伏山を借景として見えるようにしたいが、整備予定地の手前から生えている木が高く、人の土地なので勝手に伐採できないので、この段の木をすべて伐採しても美ヶ原や鉢伏山の借景をできない可能性がある。それ以外の西の山などは見ることができると思う。
- 2 駐車場の設置
 - ・駐車場を整備予定地の一番下の段に設置する予定だったが、高低差が激しく駐車場の出入り口には適していないので、一つ上の段の面積三分の一程を駐車場にしたい。
 - ・上の駐車場に行くための道路はすれ違いができないので、二段目・三段目の段差の小さい所におおよそ15×3.5mの待機所をつくる。
- 3 トイレの設置
 - ・現在トイレは上の一か所しかなく遠い所にあるので、休憩所予定地にもバイオトイレを設置する。電気は上のトイレの電線から引いてくる。
 - ・人が沢山来てほしいようにトイレは横並びに二つ設置する。
 - ・手すりを付けてバリアフリーのトイレにする。

令和5年7月28日
南安曇農業高等学校 藤原 凌太郎
環境デザインコース 3年 課題研究

黒沢洞合自然公園整備事業（打合せ）

I テーマ

ビオトープとしての池の利用と外来植物の駆除・在来植物の保全。現在ある公園の延長線上になるように整備、池・在来種の植生を設置し、動物の多様性を図る。

II 作業内容

- 1 ビオトープとしての池の利用
 - ・現在の公園も含め、池に生えているキショウブはすべて駆除し、シラサギカヤツリ、ガマなどの別の水生植物を植えて在来種を増やしたい。
 - ・池が涼しくなるように日陰を作れる木が欲しい。(ヤナギなど)
 - ・綺麗な水と涼しい環境が出来れば、ワサビやハーブを植えたい。
 - ・池の深さに合わせて浮草や沈水草がほしい。(ホテイソウ、ミズトクサ、シラサギカヤツリなど)
 - ・池の周りに石を置いてどこまでが池なのか分かるようにしたい。
- 2 在来種を使った公園の景色作り
 - ・なるべく地域にある在来種の落葉樹を使いたい。(イチヨウ、カツラ、キンモクセイなど)
 - ・各段ごとに日本の四季を表現したシンボルツリーを植えたい。(ヤマザクラ、ジュンベリー、ナンテン、オリーブ、アオキ、マンサクなど)
 - ・野鳥が寄ってきやすいように異なる種の樹木を揃えて植えたい。
 - ・野鳥が好む水辺がもう一つ欲しい。
 - ・メジロ、アカハラ、シジュウカラ、ヤマガラ、ウグイス、コゲラが寄ってくる木を植えたい。(ムラサキシキブ、エノキ、イロハモミジ、エゴノキ、カラスザンショウ、ハナミズキ、ナナカマドなど)



南農生からの提案（公園拡張整備アイデア集）

II 提案事項

- 公園全体が見渡せる場所作り。
 - 公園を見渡せる場所が現在一か所しかないため、全体を見渡せる場所が欲しい。
 - 現在の駐車場の段が上下を見渡せる場所なので、そこを見晴らし台のようにしたい。
 - 公園が広がるので、この場所に足の悪い人も座れるような自然石を置き、公園全体を見渡せたり、野鳥を観察できるようにする。
- 借景を使った風景作り。
 - 公園の上下を見渡せる場所から美ヶ原と鉢伏山が見えるので借景として取り入れたいが、高い木があって借景に邪魔なので伐採あるいは剪定をして、山が見えるようにしたい。
- 駐車場の設置
 - 駐車場までの道が狭いため、車がすれ違えることができるくらいのスペースの道にする。
 - 上下2か所に駐車場をつくって、上の駐車場は足が悪い人や上るのが大変な人専用の駐車場にしたい。
 - 上下とも木はすべて切らずに日陰になる木を設置し、夏でも涼しい駐車場になるようにしたい。
- ピオトープとしての池の利用(水生生物)
 - 段の中に池が欲しいと思ったので二段目か三段目に池を作りたい。
 - 木の実を食べにくる野鳥や動物を利用して自然な雰囲気を出したい。
 - 牧草などはなるべく避けたい。川や池などの水がもっと欲しいと思った。
- バリアフリーも意識した、すべての人が利用できる公園作り
 - 駐車場の案でも出した通り、足の悪い人も来やすいようにできるような工夫や、伐採した木を使って、歩きやすくなるようにスロープ空道を作りたい。
 - 上るのが困難なほどの急な坂は避け、なるべく緩やかな坂にしたい。
- 植物
 - 外来種は取り除き、安曇野に生息している、黒沢洞自然公園に生育している在来種の植物を利用したい。木の実が付き、動物が来る植物を植えたい。
- 季節を感じる公園
 - 広葉樹、落葉樹を取り入れたい。
 - 夏に日陰になるような樹木などを取り入れる。
 - 四季おりおりの花、野草などを取り入れる。
- 兼用施設の設備
 - トイレが一か所しかないので、下に作る予定の駐車場の場所にもトイレを設置したい。
 - 水道としても使える水栓柱を可能なら設置したい。
- 元の歴史も感じられる公園作り
 - 今回、ピオトープにする場所ももとは田んぼだったので、「ここは昔、田んぼだったんだ」と分かるように、なるべく原型を崩さないようにしたい。
 - 歴史を感じる様な物は残しておきたい。
- より自然を学べる公園
 - 幅広い年代に利用していただきたいが、ピオトープなので植物を生育しているため、走り回るようなスペースはならず、植物の保護・観察できるようにして、遊ぶための公園とは区別化する。
 - また、公園の周りの森林の手入れもできれば行ってみたい。特に、黒沢川にいくまでの道を作ってもらいたい。

2人の課題研究テーマ

借景を使った風景づくりと駐車場・トイレの設置をして人が集まりやすく、利用しやすいように道、駐車場を改善する

ピオトープとしての池の利用と外来植物の駆除・在来植物の保全。現在ある公園の延長線になるように整備。池・在来種の植生を設置し、動物の多様性を図る。

2人の課題研究の目的と方法の詳細化

黒沢洞合自然公園拡張整備基本方針 → 公園の整備方針とアイデア集を照合 + 現地の条件やニーズを踏まえる → 提案を現場に落とし込む

- **コンセプト**
里山の自然を保全・創造し、また、里山の豊かな自然環境や動植物とふれあうことで、子どもも大人も未知の体験に胸を弾ませ、里山の自然を楽しむ活用するピオトープ型の自然公園。
- **整備目的**
次世代への環境遺産として継承
里山の自然環境に、子どもも大人も容易に触れ合い経験できる場
- **整備方針**
【全体】
広大で開放的な、成長するピオトープ型の公園
- 【方法】
南安曇農業高校の生徒が学習や実習を兼ねて参加
子どもが必要と考える自然公園の提案
市民が関わる公園づくり子どもによる植樹等
- 【構成】
○自生する生物が集まり繁殖しやすい空間
- 最初から作り込み過ぎず、植物の自然な成長を観察
- 昆虫、植物の採取を自由にできるように。
- 環境に配慮したうえで、教育保育機関等が体験活動・学習活動・観察会等の利用。
- 【動線】
公園内を回遊でき、変化も楽しめる園路
- 【施設】
里山の自然に配慮し、設備は原則設置しない。
- 【その後の活用】
市民が気軽に里山の自然に触れ合える場として活用。
学校や認定こども園等呼びかけ、学習活動の一貫として活用。

自然に対して関心のある人

開放的⇒山の景色

幼児、低学年児童(団体)

高齢の方、障がい等のある方の受け入れ方

〇〇に〇〇してもらえる公園

〇〇なので 背景・理由・目的	〇〇（誰）が ターゲット	〇〇できる公園 できること
<ul style="list-style-type: none"> 東西に2000m級の山々が見えるので 川との間の木が邪魔なので 将来的に樹木間伐が必要になるため 	<ul style="list-style-type: none"> 自然や山が好きの人、子どもがいる家族→足が不自由な人も含め 誰でも(安曇野市民中心) 車いすを使用した人も来れるところ、家族で 	<ul style="list-style-type: none"> 借景を通して雄大な風景に感動してもらう 樹木伐採できる(薪利用)
<ul style="list-style-type: none"> 公園が広がると来る人が増えて、駐車場一つでは足りない 車でしか来られない 小学生などが遠足で来られる場所(自然観察) 	<ul style="list-style-type: none"> 車で来た人たち マイクロバスなど団体でくる人たち 	<ul style="list-style-type: none"> 今より多くの車を止められる
<ul style="list-style-type: none"> 今のトイレの場所は遠い 高低差がある 	<ul style="list-style-type: none"> 誰もが(バリアフリー) とくに足の不自由な方、高齢者 今は元気な人向け⇒そうでない人に対しても! よちよち歩きの子と親 	<ul style="list-style-type: none"> 誰でも利用できるバリアフリーのトイレ(スロープ付き)
	<ul style="list-style-type: none"> いろいろな生き物が(鳥、水生生物) チョウ カエルは? 水鳥は? 	<ul style="list-style-type: none"> 寄ってみたいと思う池 自然を楽しめるピオトープ
<ul style="list-style-type: none"> 安曇野市の自然公園なので 日本の四季を取り入れたいので 	<ul style="list-style-type: none"> 野鳥(メジロ) 木の実を食べにきた野鳥 カブトムシ、クワガタ、トンボ 自然を好きな人たちが 猛禽類 	<ul style="list-style-type: none"> 寄ってみたいみたいと思う場所 昼夜自然観察ができれば 桜など四季を感じる植物を植えた四季を感じられる バードウォッチングができる
	<ul style="list-style-type: none"> 自然を楽しみに来た人 	<ul style="list-style-type: none"> 昔は田んぼだったこと歴史を感じられる

そのために敷地に対して人が施すべきこと

- 次世代への環境遺産であることを忘れずに
- 借景の場所を定め、樹木の伐採をする
- 高い木を伐採、剪定する
- 公園全体を見渡せる場所をつくる
- 座れる自然石を置く
- 上下2か所の駐車場
- すれ違いスペース
- 上の駐車場から下ってくる車と上ってくる車のすれ違いができるように、1、2か所待避所をつくる
- 段差の小さいところにすれ違いの場所(車)を2か所つくる
- 環境配慮しながらの工夫
- スロープ
- バリアフリートイレ
- 池は安全上あまり深くない、中に入れる
- 2段目か3段目に池
- 川や池の水を誘導する
- 自然な雰囲気をつくる
- きれいな池
- 草はどうする
- キショウブは取り除く(上の段)
- 池の周囲に(南に)日陰となる木を植える
- 牧草は避ける
- 夏日陰になる樹木を植栽
- 木の実がなる植物を植栽
- 野鳥がとまれる樹木を植栽
- 植物は在来種にしたい
- 四季折々の花、野草を植栽
- 広葉樹、落葉樹を植栽
- 田んぼであったことがわかるようにする
- 黒沢川までの道をつくる

2. 誰が何を公園をつくらうとしているのか？の整理

黒沢洞合自然公園拡張整備 基本方針

■ **コンセプト**
里山の自然を保全・創造し、また、里山の豊かな自然環境や動植物とふれあうことで、子どもも大人も未知の体験に胸を弾ませ、里山の自然を楽しみ活用するビオトープ型の自然公園。

■ **整備目的**
次世代への環境遺産として継承
里山の自然環境に、子どもも大人も容易に触れ合い経験できる場

■ **整備方針**
【全体】
広大で開放的な、成長するビオトープ型の公園

【方法】
南安曇農業高校の生徒が学習や実習を兼ねて参加
子どもが必要と考える自然公園の提案
市民が関わる公園づくり
子どもによる植樹等

【構成】
○自生する生物が集まり繁殖しやすい空間
○最初から作り込み過ぎず、植物の自然な成長を観察
○昆虫、植物の採取を自由にできるように。
○環境に配慮したうえで、教育保育機関等が体験活動・学習活動・観察会等の利用。

【動線】
公園内を回遊でき、変化も楽しめる園路

【施設】
里山の自然に配慮し、設備は原則設置しない。

【その後の活用】
市民が気軽に里山の自然に触れ合える場として活用。
学校や認定こども園等に呼びかけ、学習活動の一貫として活用。

【南農生提案】○○が○○できる公園 具体像

○○なので 背景・理由・目的	○○(誰)が ターゲット	○○できる公園 できること
H17整備でいろいろな生き物呼び寄せた	色々な生き物 トンボ クワガタ カエル カブト チョウ 水鳥・野鳥 猛禽類	寄ってきたくなる場所・池 餌場になる
安曇野市の自然公園なので	木の実を食べにくる野鳥たち	寄ってきたくなる場所
昔はたんぼだった土地	自然の好きな人たち (自然とのふれあいを深めたい世代も)	四季を感じる
ビオトープ型の自然公園	子どもたち	田んぼの面影を感じる 観察と合わせて入れる池 昼夜の自然観察 遊ぶための公園とは区別 バードウォッチング 川に近づける
東西2000m級の山を眺められる場所 三郷最高峰の黒沢山 将来的に間伐も必要	自然や山が好きな人たち 市民中心	借景に感動 樹木を伐採して薪利用
遠足で来れる場所	小学生等 マイクロバスでの団体来園	団体で来ても車を停めることができる
公園が広がることで来入る人たちを受け入れるには駐車場不足 車もすれ違いえない	自動車でここに来たいという人たち	すれ違いができ安心して車を止められる
現在の公園は元気な人向き	そうでない人たちに対しても	歩いて自然にふれあえる公園
公園が広がることで既存の便所までの距離が遠くなる	足の不自由な方(高齢者等) 車椅子を使用した人も	安心して公園で過ごすためのトイレやスロープがある

その実現に必要なハードとソフト

ハード	ソフト
◆二段目か三段目に池 ◆木の実を食べにくる野鳥や動物を利用して自然な雰囲気を出	○牧草などはなるべく回避 ○外来種は取り除き現地に生育する在来種の植物を利用
◆木の実がつき、動物が来る植物を植栽 ◆広葉樹、落葉樹の植栽 ◆夏に日陰になるような樹木の植栽 ◆四季おりおりの花、野草	公園周りの森林の手入れ
◆昔たんぼだったを想起させる原型を崩さない造成。 ◆歴史を感じる要素を残置 ◆日陰のある涼しい池	
◆現在の駐車場の段を見晴らし台的空間にあわせて足の悪い人でも座れる自然石ベンチの設置 ◆黒沢山と美ヶ原・鉢伏山を借景とした広場(東側の樹木の伐採含む)	伐採樹木の循環(薪)利用
◆上下2か所の駐車場。日陰になる木のある夏でも涼しい駐車場	
◆車の退避スペースのある進入路(ただし公園区域のみ)	
◆トイレ新設(下に作る駐車場の場所へ)バリアフリー型のバイオトイレ	
◆足の不自由な方にも配慮したスロープや園路(上るのが困難なほどの急な坂は避ける)	
◆黒沢川にいくまでの道(園路)	

3. どこに何をつくる、何をするとよいかの整理

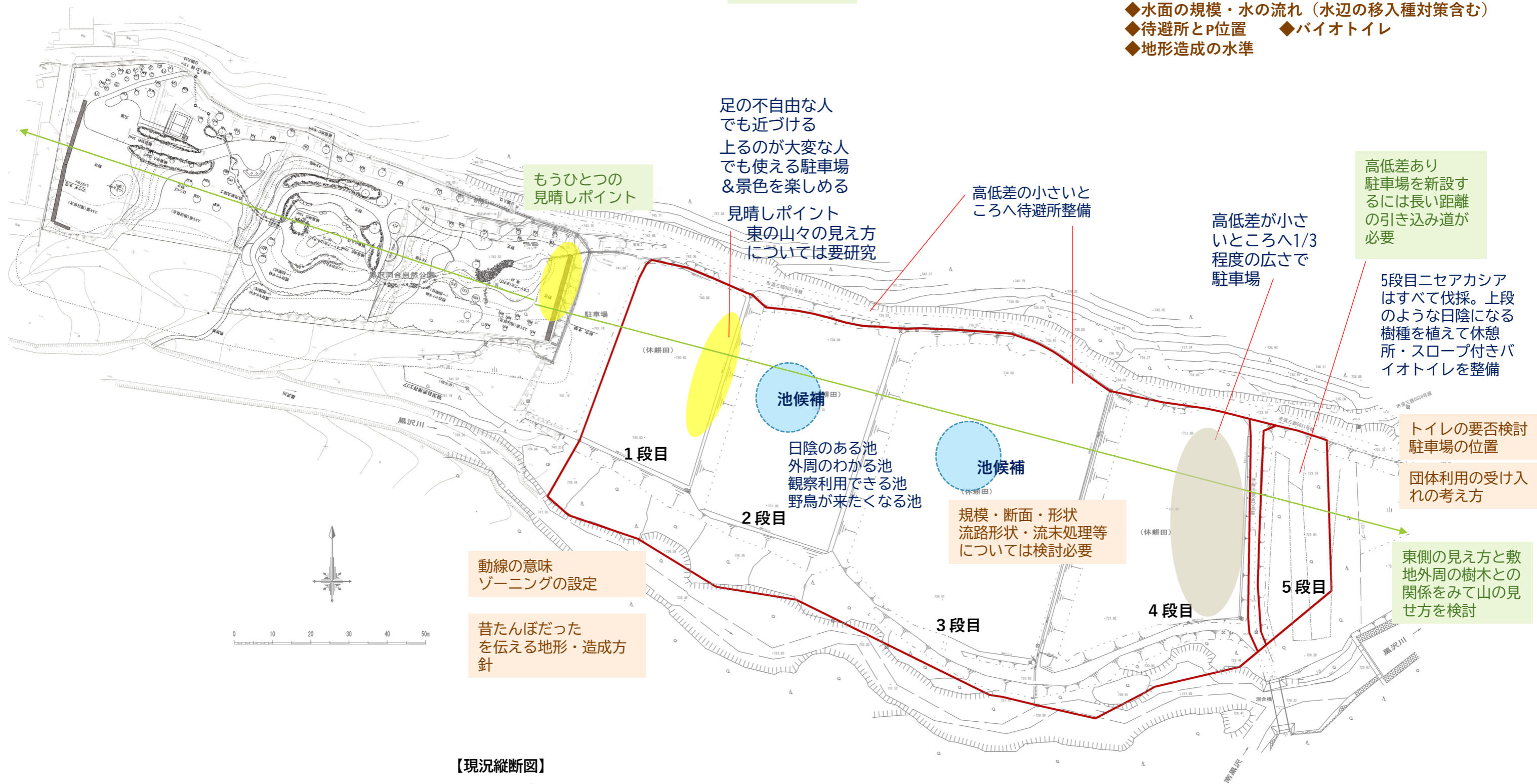
現地で確認して
共有した認識

南農生提案

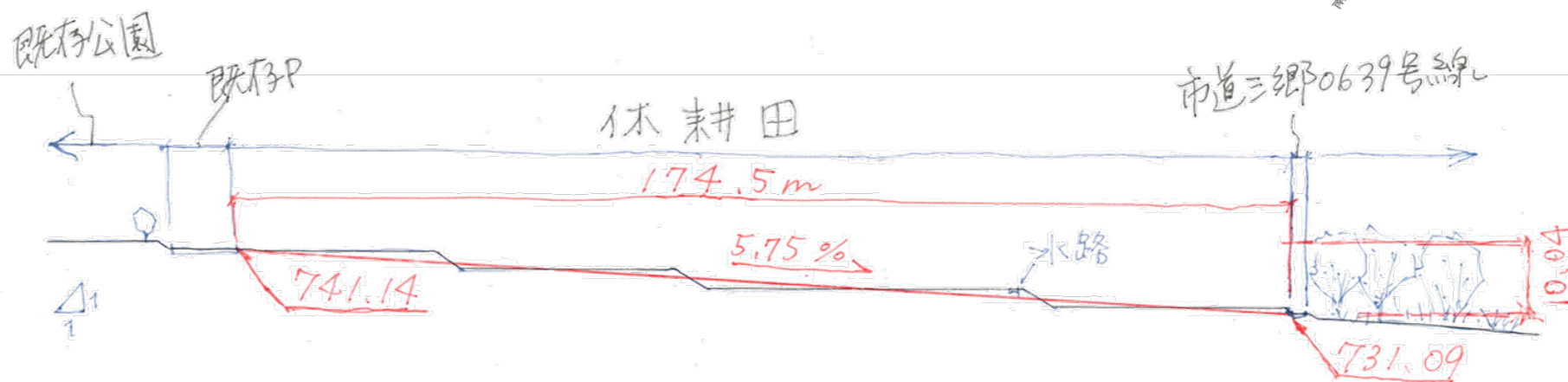
今後の検討課題

【ハード面での検討課題】

- ◆視線 樹高 ⇒広場位置・形状
- ◆水面の規模・水の流れ (水辺の移入種対策含む)
- ◆待避所とP位置 ◆バイオトイレ
- ◆地形造成の水準



【現況縦断面図】



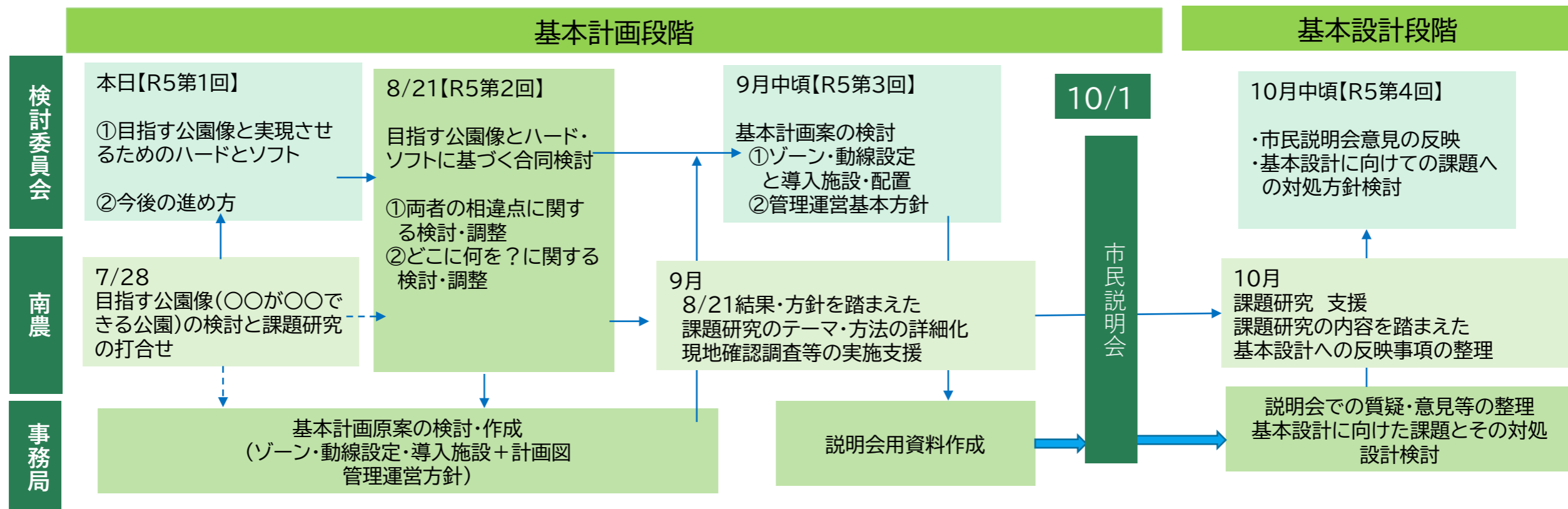
4. 今後の進め方

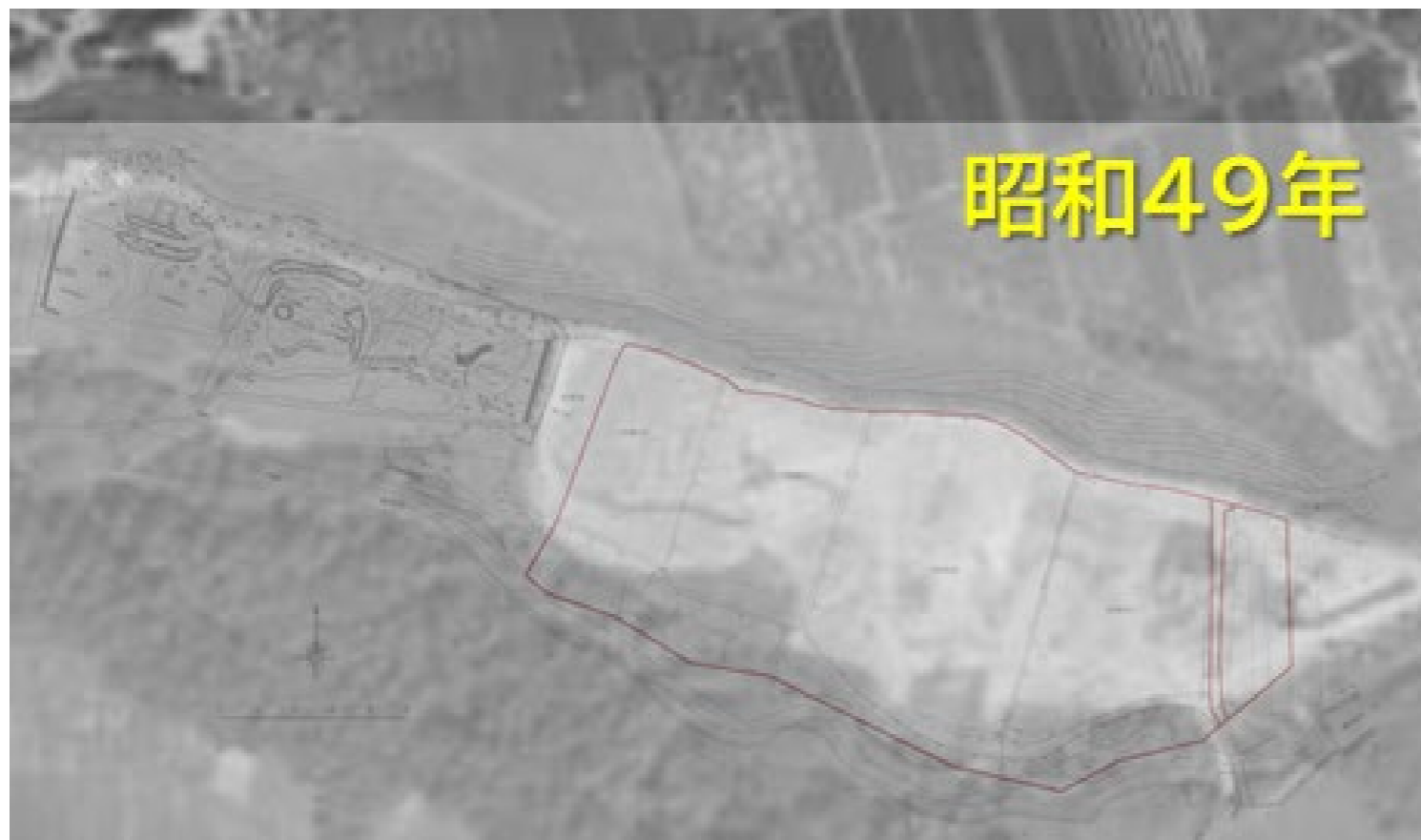
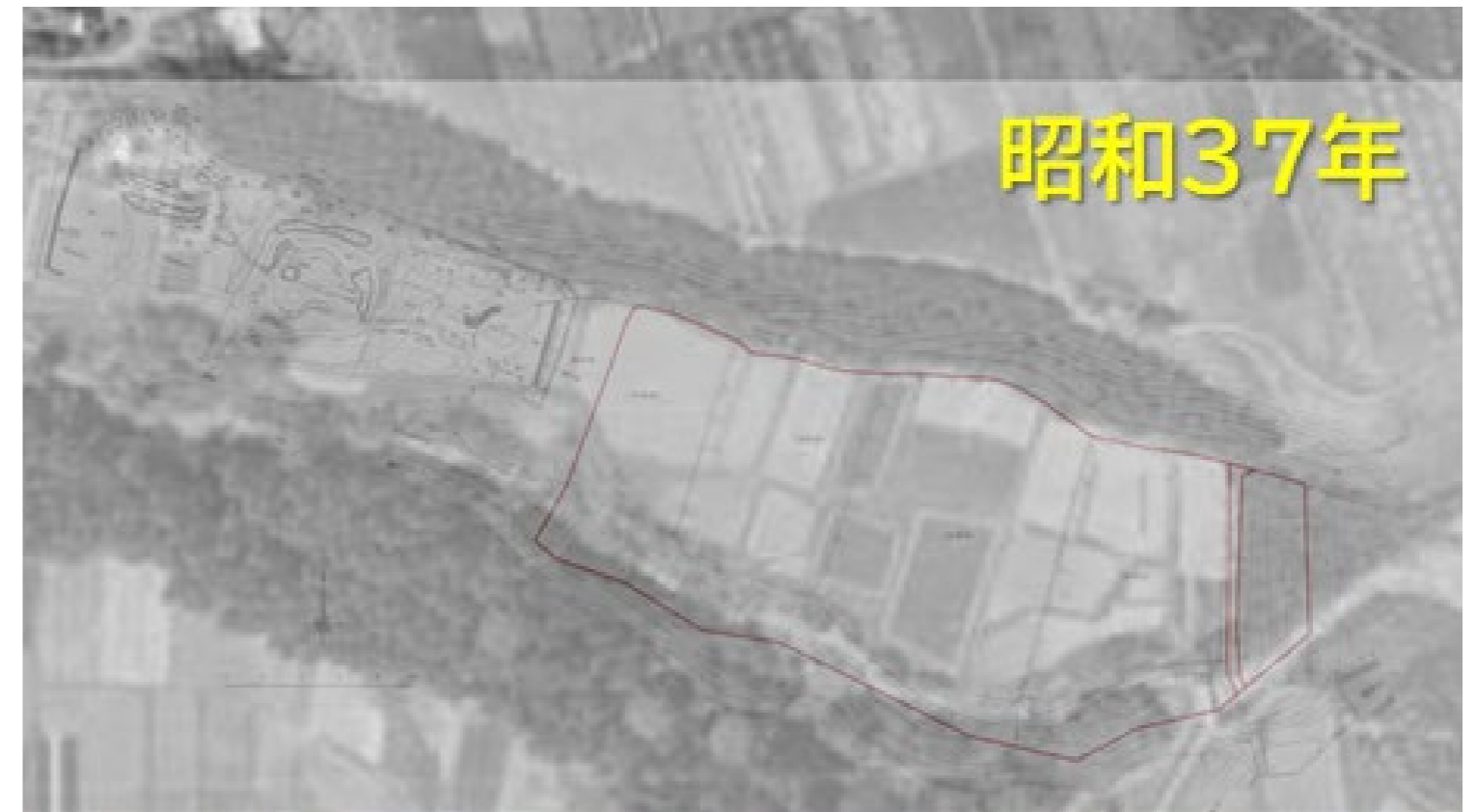
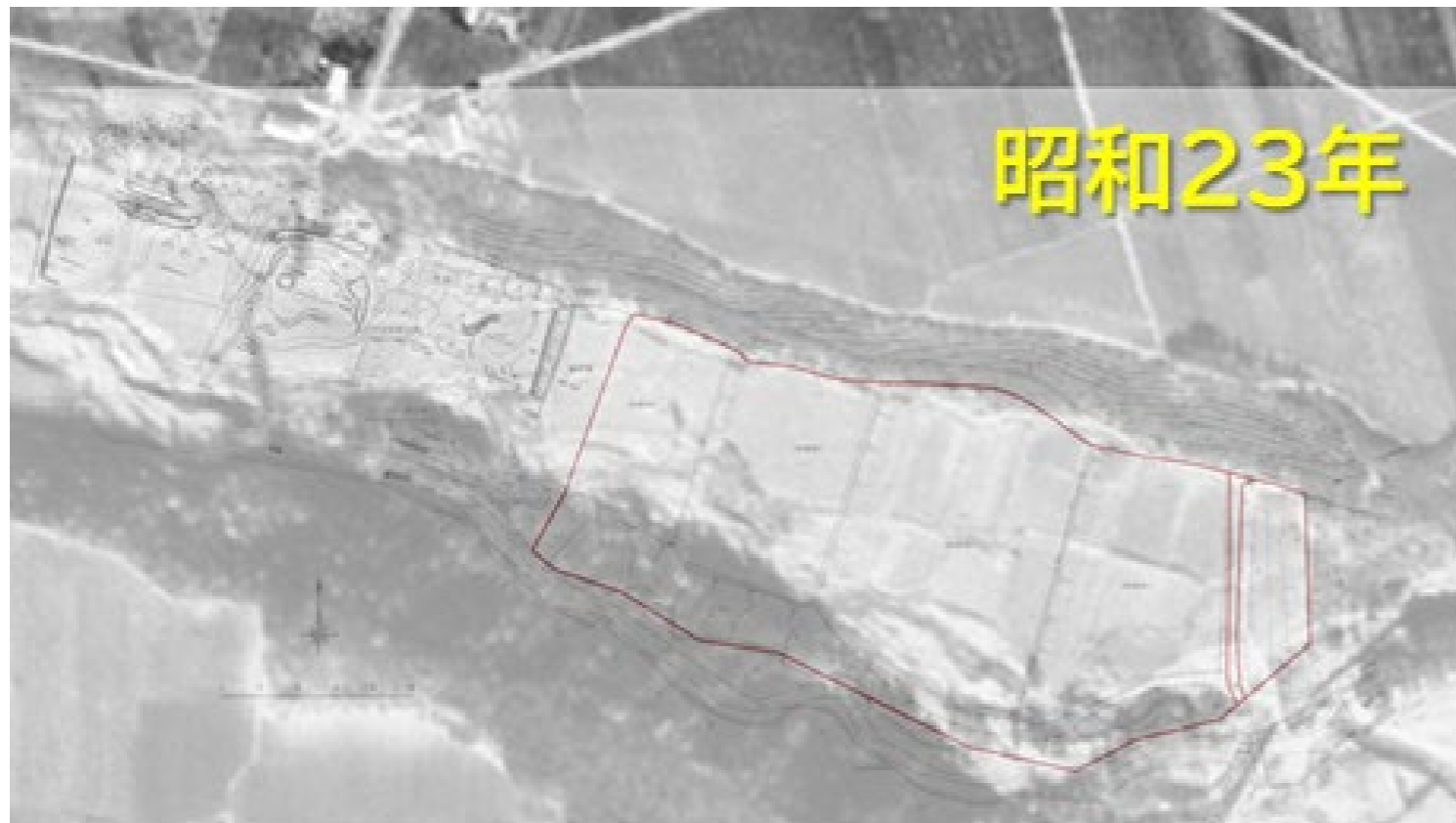
(1) 整備に向けたスケジュール

- 23年9月頃まで 基本計画検討
南農生提案の反映及び
課題研究テーマ設定・具体化
- 23年10月初旬 市民説明会
- 23年11～1月 基本設計検討
課題研究テーマとも関連付けた
詳細な南農生提案の反映・課題
研究の支援
- 23年12月 用地の売買契約
- 24年1～2月 土地利用条例による説明会
- 24年3月 用地取得に係る議案の議決
24年3月 基本設計とりまとめ
- 24年4～9月 実施設計
- 24年8月から9月 工事発注
- 24年10月～25年12月 工事期間

担当	令和5年度										令和6年度		
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月			
市	設計業務の調整										(特定開発事業手続・開発等事務手続)		HP公表
市		8/18 9月広報誌 入稿〆切り	9/20 広報あづ みの発刊	基本計画 市民説明会 (報告方式) 10/1(日)					土地利用条例に 基づく説明会				
検討委員会		令和5年度 第1回 8/8	令和5年度 第2回 8/21	令和5年度 第3回 9月中旬	令和5年度 第4回		令和5年度 第5回		令和5年度 第6回				
南農高校	7/14 打合せ ①	7/28 打合せ ②		打合せ ④	打合せ ⑤	打合せ ⑥	打合せ ⑦	打合せ ⑧		次年度参加生徒のフォロー			
㈱KRC	1 基本計画	現況把握・敷地分析 計画内容の検討・方針設定		2 基本設計	与条件の細部検討 諸施設の検討及び設定		基本計画図の作成		概算工事費の算出 基本計画説明書の作成 鳥瞰図の作成		基本設計の完成		
議会等							11/21 全協 基本計画の報告			3月議会 用意買収の決議・基本設計の報告			

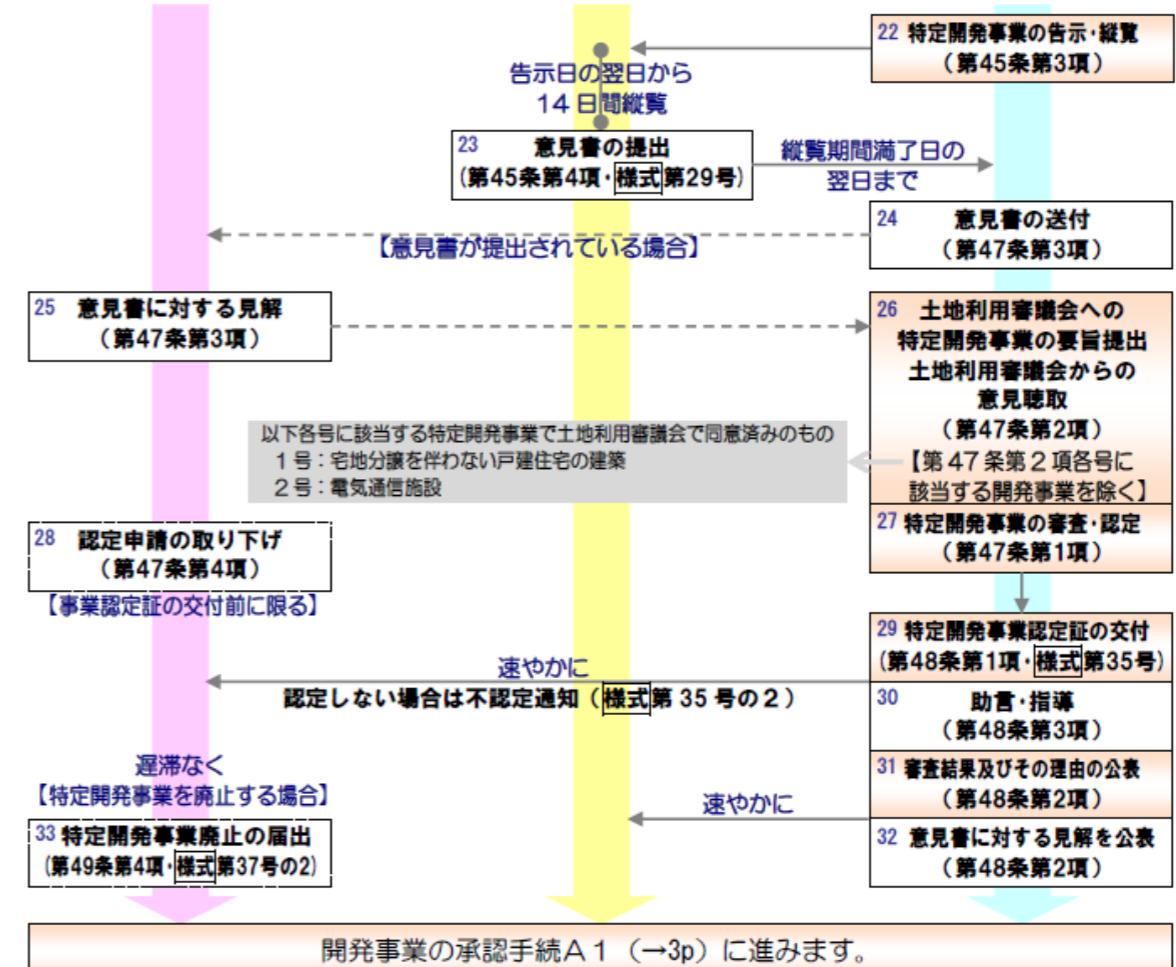
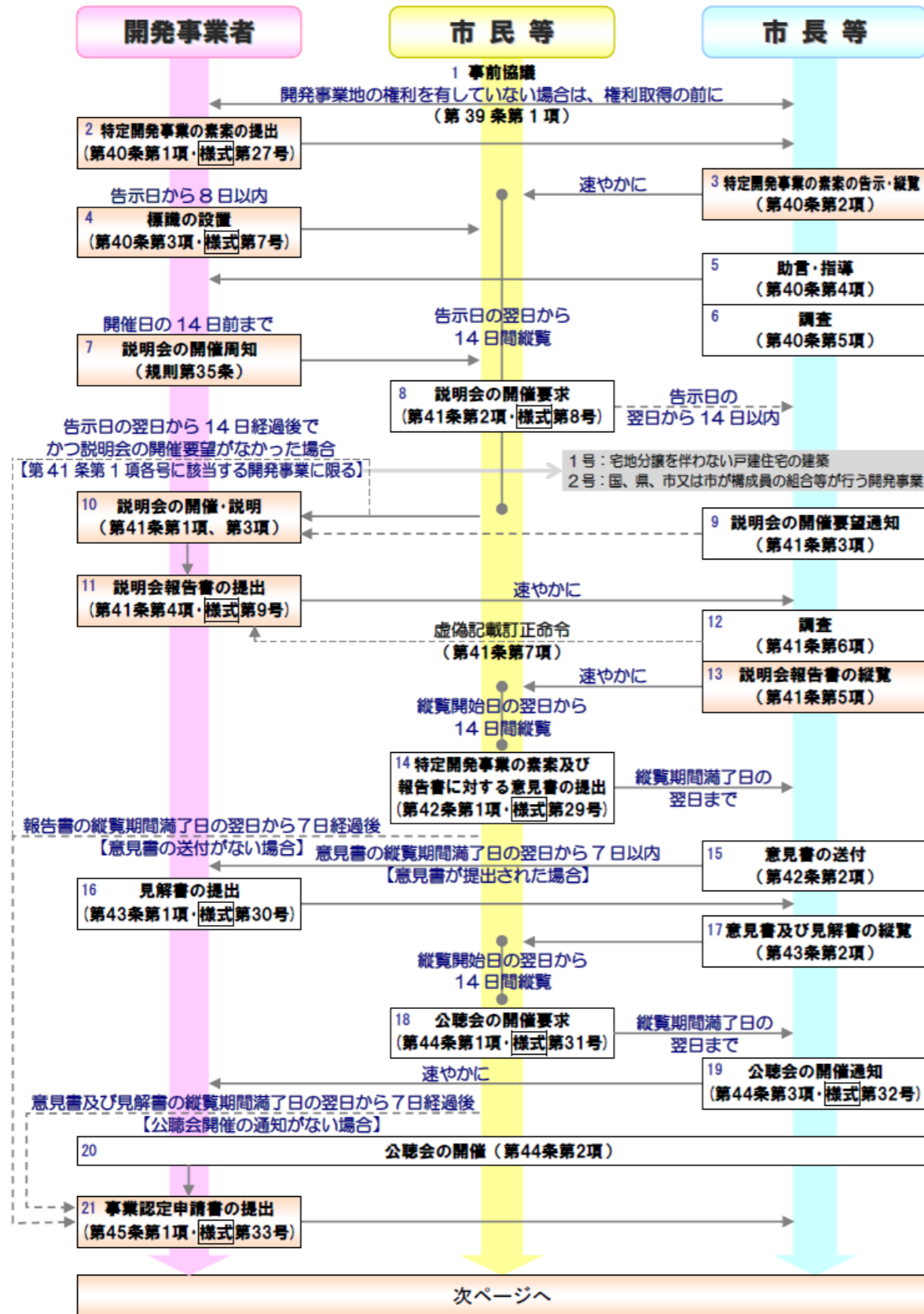
(2) 基本計画とりまとめ～基本設計へ(10月前半まで)の展開





参考2. 安曇野市土地利用条例上の手続き

手続B 特定開発事業の認定手続（説明会の開催は必須）



- ※1 事業認定証の交付後、承認申請を行うまでの間に、事業認定を受けた内容を変更しようとするときは、再度事業認定を受ける必要があります（規則第43条に定める軽微な変更を除く）。
- ※2 上記において、規則第43条に定める軽微な変更を行う際は、様式第37号による届出が必要です。
- ※3 条例第50条第1項に基づき、事業認定に基づく地位を承継した場合は、様式第38号による届出が必要です。